

浪江町国民健康保険  
 第3期保健事業実施計画（国保データヘルス計画）  
 第4期特定健康診査等実施計画  
 【令和6年度～令和11年度】  
 〈概要版〉

浪江町国民健康保険では、健康の保持増進、生活の質の維持及び向上を図り、医療費の適正化に資することを目的に令和6年度から11年度までの保健事業実施計画（国保データヘルス計画）及び特定健康診査等実施計画を策定しました。  
 特定健康診査・特定保健指導の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、健康課題を的確に捉え、課題に応じた効果的・効率的な保健事業を推進していきます。

～浪江町国民健康保険の健康医療の状況～

● 国保人口の推移 ●

国保人口は、令和4年5,448人で、平成30年と比較して1,060人減少しています。下の表を見ると、国保人口に占める前期高齢者※の割合は47.0%となっており、平成30年と比較すると9.8ポイント高くなっています。

	被保険者数		割合	平均年齢
		前期高齢者		
平成30年	6,508	2,424	37.2%	52.7
令和元年	6,210	2,439	39.3%	53.4
令和02年	6,055	2,549	42.1%	54.4
令和03年	5,742	2,603	45.3%	55.6
令和04年	5,448	2,563	47.0%	56.3

※前期高齢者とは、65歳以上75歳未満の高齢者をいいます。

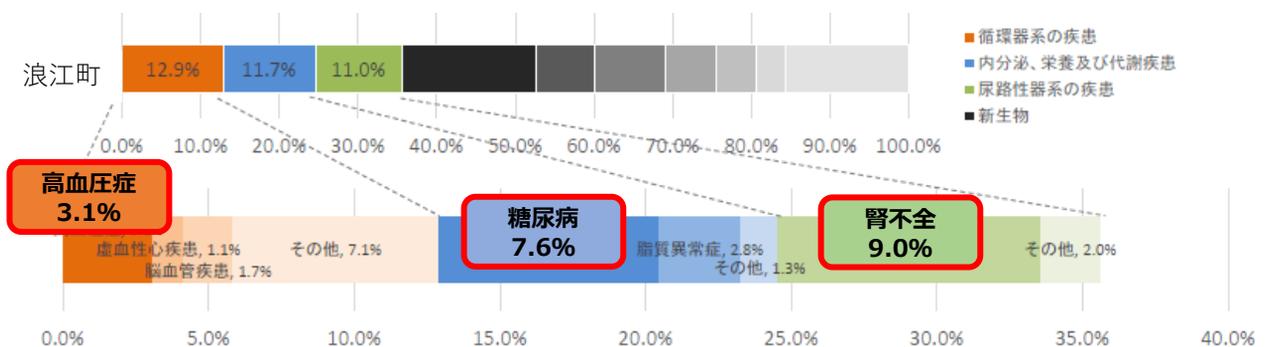
● 浪江町入院・外来医療費の状況(経年推移) ●

1件当たりの医療費は、令和4年38,627円で平成30年と比較して3,277円増加、入院1件当たり医療費は平成30年と比較し79,540円増加となっています。  
 外来・入院件数割合は平成30年と比較して横ばいとなっています。

	計		外来				入院			
	1件当たり医療費	H30年比	1件当たり医療費	H30年比	費用割合	件数割合	1件当たり医療費	H30年比	費用割合	件数割合
平成30年	35,350		24,490		67.8%	97.8%	521,650		32.2%	2.2%
令和元年	36,635	1.04	25,980	1.06	69.4%	97.9%	526,930	1.01	30.6%	2.1%
令和2年	37,739	1.07	26,290	1.07	68.2%	97.9%	565,680	1.08	31.8%	2.1%
令和3年	37,555	1.06	26,540	1.08	69.2%	97.9%	541,020	1.04	30.8%	2.1%
令和4年	38,627	1.09	25,920	1.06	65.6%	97.8%	601,190	1.15	34.4%	2.2%

● 医療費における生活習慣病疾病内訳(令和4年) ●

生活習慣病疾病内訳をみると、「循環器系疾患」では**高血圧症**、「内分泌、栄養及び代謝疾患」では**糖尿病**、「尿路器系疾患」では**腎不全**が多くを占めています。



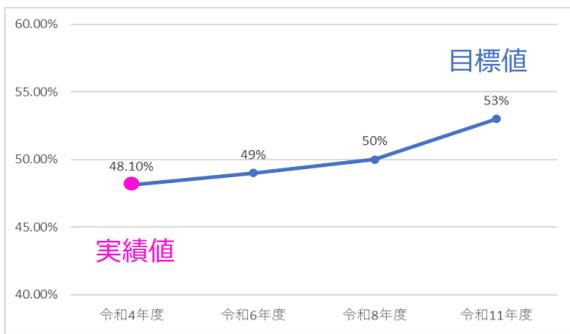
## ～健康課題の明確化～

現 状	効 果
特定健診対象者の約6割が特定健診を受けていない	特定健診を受けることで病気の早期発見・治療につながり、将来の医療費負担を減らせる
メタボリックシンドローム該当者の約5割が保健指導を受けていない	専門職による保健指導を利用することで、食事・運動習慣を見直し、メタボリックシンドロームの改善が図れる
人工透析の患者数、医療費ともに増加しており、人工透析者の2人に1人は糖尿病の治療をしている	専門職による保健指導を利用することで、食事・運動習慣を見直し、人工透析等の糖尿病の合併症の予防が図れる
要介護認定の2号被保険者の約5割が心疾患・脳血管疾患、1号被保険者の5割以上に心疾患がある	専門職による保健指導を利用することで、食事・運動習慣を見直し、将来、心疾患や脳血管疾患等の発症の予防が図れる

## ～目標達成のための4つの柱～

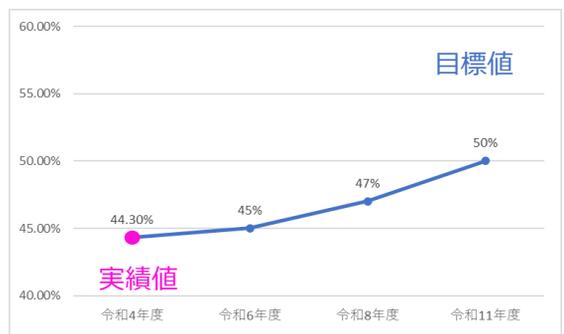
当町では、課題を解決するために目標を設定し、下記の保健事業を実施していきます。

### ①特定健診受診率向上事業



生活習慣病の予防、早期発見及び重症化予防のため、広報、チラシ、サロンや教室で受診勧奨を行う。また、不定期受診・未受診へ受診勧奨通知を行い、特定健診の受診率向上を図る。

### ②特定保健指導終了率向上事業



メタボリックシンドロームに着目し、健診結果を基に対象者を抽出する。健診結果の確認、生活習慣の把握、食事、運動の保健指導を行い、特定保健指導の終了率を向上する。

### ③糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病性腎症の重症化を防ぐため、HbA1cが6.5%以上(未治療)の方、HbA1cが7.0%以上(治療中)の方を対象に、健診結果の確認、生活習慣の把握、食事、運動の保健指導を行い、HbA1c6.5以上割合の減少及び尿蛋白(+)以上またはeGFR45未満の割合の維持を図る。

### ④生活習慣病重症化予防事業

生活習慣病重症化予防のため、血圧Ⅱ度以上の方、LDL-C160以上の方、心疾患未治療の心房細動所見の方を対象に、健診結果の確認、生活習慣の把握、食事、運動の保健指導を行い、血圧Ⅱ度以上、LDL-C160以上の割合の減少を図る。また、心房細動有所見者の再検査受診の確認を行う。

短期  
目標

生活習慣病、特に動脈硬化に起因する疾病の予防、早期発見及び重症化予防を重視するために、特定健診受診率向上、特定保健指導終了率向上、メタボ該当者・予備群の割合の減少を目標とする。

中長期  
目標

健康寿命に深く関わりがあり、医療費も高額となる「慢性腎臓病」、「人工透析」、「虚血性心疾患」、「脳血管疾患」などの患者数を減少させるために、その原因となる、「糖尿病」、「高血圧」、「脂質異常症」などの予防や早期発見及び重症化の予防を行う。

健康の保持増進、  
生活の質の維持及び向上